



平成 26 年 3 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 遠 藤 製 作 所
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 重 松 健
(J A S D A Q ・ コード 7 8 4 1)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 門 担 当 佐 藤 俊 明
役 職 ・ 氏 名
電 話 番 号 0 2 5 6 - 6 3 - 6 1 1 1

特別損失（減損損失）の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 3 月期において、下記のとおり固定資産の減損損失を特別損失に計上いたします。また、平成 25 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

当社の主力事業であるゴルフクラブ市場は、ゴルフ人口の減少化傾向に加え、景気回復の遅れ、デフレ傾向の影響等から国内市場は活力に欠ける一方、海外廉価品との価格競争が国内外市場とも、ますます激化している等厳しい環境下にあります。このような状況の中、当社は鍛造製造のメリットを生かすべく開発、提案営業を強化するとともに、生産効率の向上、製造コストの低減に努め、競争力のある製品供給に取り組んでまいりました。

しかしながら、海外廉価品の市場シェアが徐々に上がる中、ゴルフ事業の生産拠点があるタイ国における最低賃金の大幅引き上げや最近の円安パーツ高による為替の影響等から、タイ工場からの輸入コストが上昇しております。

当社としましては、抜本的な生産性向上、製造工程改善等の施策を講じてゴルフ事業の業績向上に取り組んでおりますが、現在の事業環境を鑑み、当社及び在外子会社 ENDO THAI CO., LTD. のゴルフ生産設備について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討し、当該固定資産について減損損失 483 百万円（当社:347 百万円、ENDO THAI CO., LTD. :136 百万円）を特別損失に計上する予定であります。

なお、この度は会計基準に従い、固定資産の減損損失を計上いたしますが、ゴルフ事業につきましては鍛造技術の優位性を包括する当社の主力事業の位置付けに変わりはなく、今後とも多様化するニーズに対応すべく企画開発力を高め、徹底した製造コストの削減等に取り組み、早急に収益改善を図り事業の拡充に努めてまいります。

2. 平成 26 年 3 月期通期業績予想の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

(1) 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	16,637	3	57	△215	△24 円 63 銭
今回修正予想 (B)	16,076	32	212	△577	△66 円 09 銭
増減額 (B - A)	△561	29	155	△362	
増減率 (%)	△3.4	966.7	271.9	—	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	17,486	923	1,118	484	55 円 17 銭

(2) 平成 26 年 3 月期通期個別業績予想

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	7,667	△1,223	△1,223	△140 円 09 銭
今回修正予想 (B)	7,913	△529	△872	△99 円 88 銭
増減額 (B - A)	246	694	351	
増減率 (%)	3.2	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	10,532	380	210	24 円 03 銭

(3) 修正の理由

連結業績につきましては、売上高は予想を若干下回る見込みであります。利益面につきましては、営業利益、経常利益はコスト削減及び円安による為替差益等から予想を上回る見込みであります。当期純利益は上記「1. 特別損失の内容」に記載のとおり、固定資産の減損損失を特別損失に計上すること等から、予想を下回る見込みであります。

個別業績につきましては、売上高は予想を若干上回る見込みであります。経常利益、当期純利益は連結業績予想の修正及び連結子会社から配当金を受領する予定等から、予想を修正いたします。(詳細は本日別途公表しております「連結子会社からの配当金受領に関するお知らせ」をご参照ください。)

なお、期末配当予想につきましては、平成 25 年 5 月 15 日の決算短信で公表いたしました予想値からの変更はありません。

(注) 上記の予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上